

中野を発信拠点に

NAKANO 街中まるごと美術館!

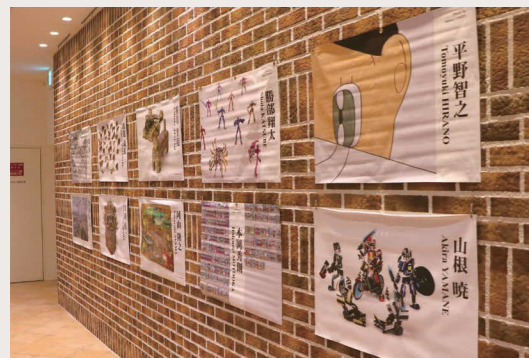


▲まちを一つの美術館に見立て、パナーなどを展示 (中野南口駅前商店街)

商店街などと協働で開催しているイベントです。その成り立ちなどをお話しします。



▲思わず立ち止まってしまう階段ギャラリー (中野ブロードウェイ商店街)



▲買い物ついでに楽しめるコーナー (中野マルイ)

「継続は力である」と背中を押されて～今年で10周年

毎年このイベントは、国などの補助金や助成金を申請・活用して実施してきました。しかし、助成を受けられなかったことも。そんな時、商店街の方が「継続は力だから今年もやった方がいい」と背中を押してくれました。周囲の方々の協力があってこそ、10年続けてこられたと思っています。

障害のある人もない人も、誰もが暮らしやすい雰囲気がじわじわと広がり、中野のまちならではの多様性を受け入れる空気感の高まりを感じます。アール・ブリュットを通じて、中野をより文化度の高いまちにできたいなと思っています。



▲日常と調和しています

南口本通り



もっと伝えたい
アール・ブリュット

多様性を受け入れるまち中野～中野で始めた理由

断続的ですが大学生の頃から長年住んでおり、愛着のある中野。また、サブカルチャーが根付いているので、多様性のあるアール・ブリュットと調和すると考え、この地に発信拠点を作りたいと思いました。多くの人にこの芸術を知ってもらうにはどうすればいいか考え、まち全体を美術館にしようと発想したのです。そこで、商店街の方々と協働し、まちを象徴する商店街を美術館に見立て、2010年からこのイベントを開始。初めは「それってなんですか」と言われることもありましたが、作品の持つ力のおかげで、今では毎年の恒例行事の一つとして日常の中に浸透してきていると感じます。

本当の魅力に気づける空間づくりを～境界線を取り除こう

アール・ブリュット作家の中には障害のある人もいますが、人間には多様な側面があり、障害の有無はその人の一部分でしかありません。また、アール・ブリュットという概念は、時代とともに変化しつつあります。

重要なのは、その作り手がどんな人であっても作品自体を評価し、社会に参加するきっかけをつくっていくこと。あらゆる境界線を取り除いて、人が表現することと向き合うことで本当の魅力に気づくことができます。そのような空間づくりを、中野のまちを舞台に続けていきます。

いろんな人が出会う交差点 アトリエ pangaea



こんなところが活動の魅力です

私は小学生の頃、「図工の時間は何かを作らないといけない」という窮屈さを感じていました。そんな経験から、創作を強要しないこのアトリエを立ち上げました。創作する姿をただ見守るだけの人や応援する人、さまざまな人がありのままに参加しています。

生活環境の違いから、普段の生活では出会わないであろう人たちも、芸術を通して出会うことができます。そんな魅力が、この活動にはあります。



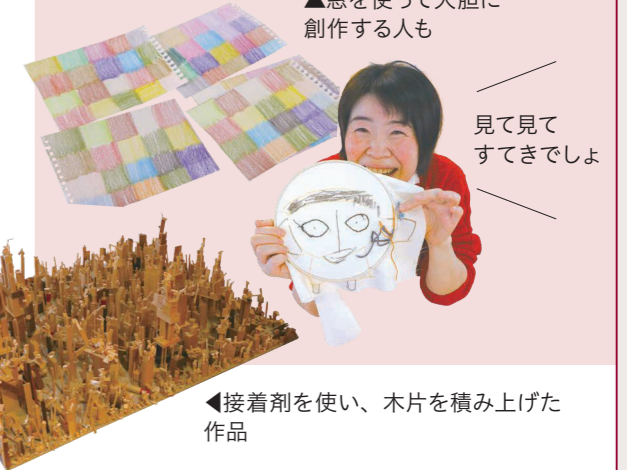
(福)愛成会が2004年から始めたアトリエ活動。当初は地域で暮らす障害のある方を対象に行っていましたが、現在は年齢、障害の有無を問わず、多くの方が参加しています。月1回、第2日曜日に開催しています。



▲その日に創作したものを発表します



▲窓を使って大胆に創作する人も



見て見て
すてきでしょ

◀接着剤を使い、木片を積み上げた作品

問合せ先

(福)愛成会法人企画事業部
(中野 5-26-18)
☎(5942)7259
FAX(3387)0820



▶HPはこちら

ぜひ ご来場を

アール・ブリュット 2020 特別展

満天の星に、創造の原石たちも輝く

— カワル ガワル ヒロガル セカイ —

中野での
開催日時

4/4(土)～14(火) 午前11時～午後7時

会場

なかのZERO西館(中野2-9-7)

問合せ先

東京都渋谷公園通りギャラリー
☎(5422)3151 FAX(3464)5241

開催状況は
直前に確認を

独創性あふれる作品を
紹介しています。



区内開催後も9月までに 都内5か所を巡回

☆その他の開催日時や会場などについて詳しくは、東京都渋谷公園通りギャラリーHPをご覧ください。同ギャラリーへ問い合わせを

▶HPはこちら

